

西東京市ワイワイトーク(ワークショップ)実施報告

1 実施概要

(1)実施日

令和 8 年 7 月 4 日、11 日、12 日

(2)参加者

小学生 7 人、中学生 4 人、高校生 1 人、大学生 31 人

※大学生：当日の進行、ファシリテーター、グループワークを行った。1 日のみ参加の学生も含む人数。

(3)実施内容：

Day 1 グループワーク

自分の意見表明の機会について、プリントに記載した内容をグループで共有した。

また、市の 3 つの取組（総合計画、ワイワイトーク、資源循環サミット）について、担当課職員から説明を聞き、自分の意見をワークシートに記入した。また、各事業について子どもが自由に質問できるよう担当課の職員が会場を巡回し、多くの質疑応答の様子が見られた。

Day 2 グループワーク

市の 3 つの取組（総合計画、ワイワイトーク、資源循環サミット）に対する意見をグループで共有し、グループで「良いところ」や「もっとこうなったら良いと思うところ」、「参考にしたいところ」、「どんな体験活動にしたいか」についての意見をまとめた。

Day 3 発表

市長、副市長、教育長、子ども・若者審議会長や保護者の前で、市の取組についてグループごとに発表した。

その他、「思ったこと」や「ワイワイトークでどんなテーマについて話したいか」について、模造紙に子どもの自由な意見を書いた付せんを貼ってもらった。

発表における子どもの意見のうち、「どんな体験活動にしたいか」を生かし、ワークショップ実施後に体験活動を行う。

2 子どもの評価及び意見について

良い点	■子どもの意見を聴く市の取組について 1 子どもの意見を取り入れようと努力してくれるところ 2 子どもの意見を反映させるように努力してくれるところ 3 良いところや改ぜんしたいことを話合えるところ 4 テーマを毎年変えているところ 5 丁寧に話してくれると意見が言いやすい 6 一対一よりもみんなに話してくれた方が、緊張なくて意見がいいやすい 7 学校の先生もお話を聞いてくれたところ 8 参加する人数を増やすための考えがあるのが良い 9 色々な内容を扱っていてあきなくて良い 10 落ち着いて本音を話せるのが良い 11 話し合いをサポートしてくれる人がいる 12 市からお返事があったので、どうなったかがわかって良い 13 市長が直接来て質問に答えてくれるのは、本当に意見が反映されているかという不安がなくなって良いと思う ■広報・周知について HP もしっかり作られていて、行きたいという気持ちになる ■その他 中高生 40 人で清掃をすると、町がきれいになり、みんなが良い気持ちになる
改善点 ・その他 意見	■子どもの意見を聴く市の取組について 1 一部の学校だけではなく、他の学校でも意見を聞いてほしい 2 市の計画を定期的に早いひんどで見直して、子どもの意見がさらに早く反映されると良い 3 定期的に自分の考えを伝える機会がほしい 4 お返事の内容は、発表した子どもだけでなく、市 HP などにも掲載してほしい 5 この場に来られなかった子にもメール等を送った方が良い。来られる人に限られる 6 田無駅と保谷駅にゴミが多いのは、広場があることが原因なのではないか。その後の調査があれば教えてほしい 7 説明よりも質問の方が意見をいいやすい 8 説明の中にゲームやクイズを入れてほしい 9 ワークブックの内容は QR コードではなく、1 ページに簡単にまとめてほしい 10 ワークブックの中に例を書いてほしい 11 発表の順序を決めてから進めた方が良い。割り込まれると悲しいから 12 家で考えるだけでなく、その場で考える時間がほしい 13 もう少し発表の練習の時間がほしい 14 ワイワイトークをまたやってほしい 15 取組①、②の内容が少し重なっている

(改善点 ・その他 意見)	16 参加賞があると色んな人が参加しやすい 17 泊まりがけの活動があった方が参加しやすい ■広報・周知について 1 他の小学校にも、クラスルームなどに市の課題を貼ると多くの人に知ってもらえる 2 市の企画はあまり知られていないため、広報方法を見直した方が良い 3 ポスターは自分で作った方がわかりやすい 4 ポスターや YouTube 動画があるとわかりやすい 5 ワイワイトークのお知らせが、市内在住でも市外に通学していると届かないのではないかな 6 ワイワイトーク開催のプリントを市内学校に配ってほしい 7 取組があまり知られていないので、SNSや公式アプリを使用すると良い ■その他 1 市公式アプリがあると良い 2 アプリを活用して暮らしに便利な機能や通知を導入してほしい 3 資源循環サミットについて知らなかった 4 色んな学校に来て資源循環サミットについて教えてほしい 5 ポイ捨てに関するルールがあるといい 6 ゴミの課があるのにびっくりした 7 田無駅では2日に1回そうじをしている 8 ゴミ問題をもっと大人に知ってほしい 9 ポイ捨てをしない呼びかけがあるといい 10 ゴミ箱や喫煙所を増やした方が良いと思う。設置できない理由を説明してほしい 11 お金がもらえればゴミ拾いに参加する 12 清掃活動をしててもゴミが無くならないので、それ以外の方法はあるのか 13 自習室の席を増やして設備を充実してほしい
こんな体 験活動にし たい！	1 ポイ捨てをしない呼びかけをする 2 楽しくみんなで協力して体験活動をしたい 3 捨てられたゴミでおもちゃ等をつくる 4 捨てられたペットボトルで野菜を育てる

3 その他 自由意見について

感想・ 思ったこと	1 楽しかった 2 みんなで意見を交換できてよかった 3 ここでは自分の意見を言えるので、話し合いがスムーズです 4 チームの人の名前を覚えてよかった 5 発表緊張するけど頑張ります 6 ゴミのことを詳しくしれてよかった。私もポイ捨てをしないように呼びかけたい 7 ワイワイプランの緑の冊子が分かりやすいので、そちらにも振り仮名をふってほしい 8 もう1日やりたい 9 会場がきれいでお菓子もおいしい 10 お菓子の種類を増やしてほしい 11 アイス、ペヤングが食べたい 12 ファンタが飲みたい
話したい テーマに ついて	1 空き家や建物の老きゅう化について 2 公園や児童館など身近なことについて 3 もっといろんなことをいっぱい話したい。乗り物(バス)のこと(はなバス、西武バス等) 4 図書館の開館時間について 5 校長先生とも直接話せる機会をつくってほしい

4 各取組に対する子どもの評価及びグループ発表内容

① 学校を通じた総合計画(子ども版)の普及・啓発についての意見(小中高生全体)

良い点	・丁寧に話してくれると意見が言いやすい ・一対一よりもみんなに話してくれた方が、緊張なくて意見がいいやすい ・市長がお返事をくれるところ ・子どもの意見を取り入れようと努力してくれるところ ・子どもの意見を反映させるように努力してくれるところ ・学校の先生もお話を聞いてくれたところ
改善点	・一部の学校だけではなく、他の学校でも意見を聞いてほしい ・他の小学校にも、クラスルームなどに市の課題を貼ると多くの人に知ってもらえる ・お返事の内容は、発表した子どもだけでなく、市 HP などにも掲載してほしい ・市の企画はあまり知られていないため、広報方法を見直した方が良い ・市の計画を定期的に早いひんどで見直して、子どもの意見がさらに早く反映されると良い ・市公式アプリがあると良い ・アプリを活用して暮らしに便利な機能や通知を導入してほしい ・説明よりも質問の方が意見をいいやすい ・説明の中にゲームやクイズを入れてほしい ・ワークブックの内容は QR コードではなく、1ページに簡単にまとめてほしい ・ワークブックの中に例を書いてほしい

グループ1・2(小学生グループ)の意見



※取組①～③をすべてまとめた内容

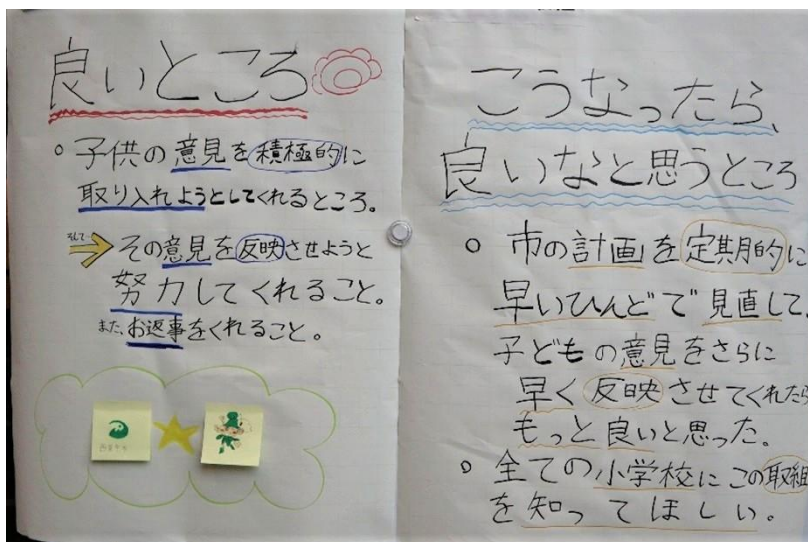
●良いところ

- 1 市長がお返事をくれてうれしい。お返事をくれないとどうなったか不安。
- 2 ていねいに話してくれると意見が言いやすい。
- 3 (学校の)先生もお話を聞いてくれた。
- 4 みんなに意見を聞いてくれたので、緊張しなくて意見が言いやすい

●改ぜん点

- 1 他の学校でも行ってほしい
- 2 説明の中にクイズやゲームがあるといい
- 3 説明を聞くよりも質問する方が良い

グループ3(小学生グループ)の意見



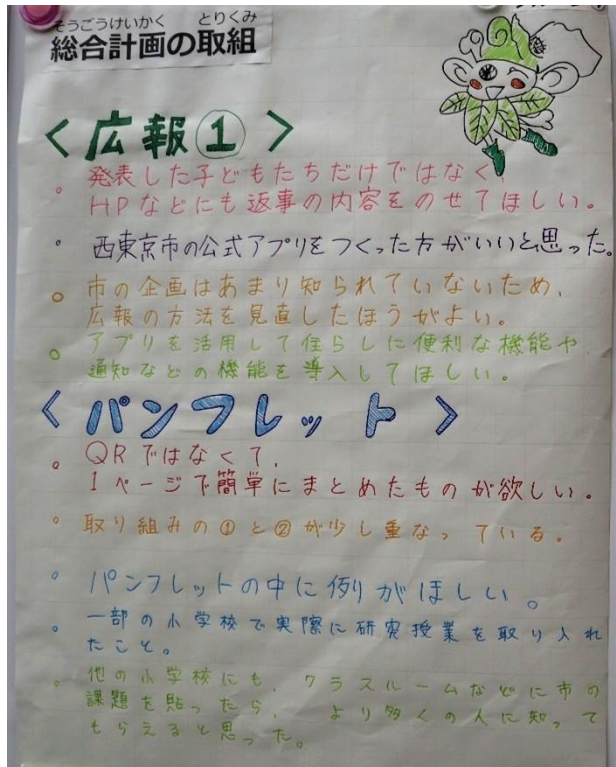
●良いところ

- 1 子どもの意見を取り入れようと努力してくれるところ
- 2 もの意見を反映させるように努力してくれるところ
- 3 お返事をくれるところ

●改ぜん点

- 1 一部の学校だけではなく、他の学校でも意見を聞いてほしい
- 2 市の計画を定期的に早いひんどで見直して、子どもの意見がさらに早く反映されると良い

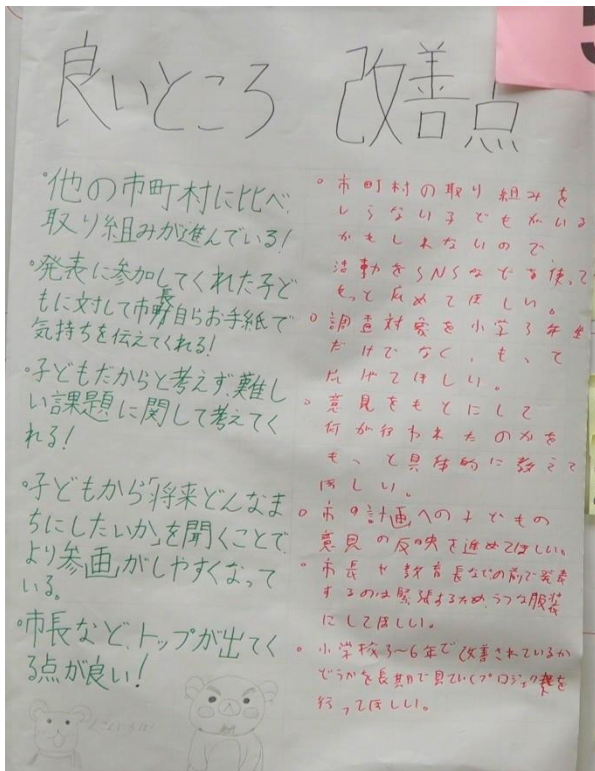
グループ4(中高生グループ)の意見



●改ぜん点

- 1 お返事の内容は、発表した子どもだけでなく、市 HP などにも掲載してほしい。
- 2 市公式アプリがあると良い
- 3 アプリを活用して暮らしに便利な機能や通知を導入してほしい
- 4 市の企画はあまり知られていないため、広報方法を見直した方が良い
- 5 他の小学校にも、クラスルームなどに市の課題を貼ると多くの人に知ってもらえる
- 6 ワークブックの内容は QR コードではなく、1ページに簡単にまとめてほしい
- 7 ワークブックの中に例を書いてほしい

グループ5(大学生グループ)の意見



●良いところ

- 1 他区市町村に比べて取組が進んでいる
- 2 参加した子どもに市長自らお返事をくれる
- 3 市長などトップの人が関わっている
- 4 子どもも難しい課題に関して考えられる
- 5 子どもに将来どんなまちにしたいかを聞くことで、より参画しやすくなっている

●改ぜん点

- 1 取組を知らない子どもがいるかもしれないので、SNS等でもっと広めてほしい
- 2 対象を小学3年生だけでなく、もっと広げてほしい
- 3 見をもとに何が変わったのか、もっと具体的に教えてほしい
- 4 子どもの意見の市の計画への反映を進めてほしい
- 5 小学校3～6年生で改善されているかどうかを長期で見たいプロジェクトを行ってほしい

② ワイワイトークについての意見(小中高生全体)

良い点	・市からお返事があったので、どうなったかがわかって良い ・市長が直接来て質問に答えてくれるのは、本当に意見が反映されているかという不安がなくなっていて良いと思う ・参加する人数を増やすための考えがあるのが良い ・色々な内容を扱っていてあきなくて良い ・落ち着いて本音を話せるのが良い ・話し合いをサポートしてくれる人がいる ・HP もしっかり作られていて、行きたいという気持ちになる ・良いところや改ぜんしたいことを話合えるところ ・テーマを毎年変えているところ
改善点	・参加賞があると色んな人が参加しやすい ・発表の順序を決めてから進めた方が良い。割り込まれると悲しいから ・家で考えるだけでなく、その場で考える時間がほしい ・もう少し発表の練習の時間がほしい ・泊まりがけの活動があった方が参加しやすい ・ワイワイトークをまたやってほしい ・定期的に自分の考えを伝える機会がほしい ・取組①、②の内容が少し重なっている ・ポスターは自分で作った方がわかりやすい ・この場に来られなかった子にもメール等を送った方が良い。来られる人に限られる ・ポスターや YouTube 動画があるとわかりやすい ・ワイワイトークのお知らせが、市内在住でも市外に通学していると届かないのではないかな ・ワイワイトーク開催のプリントを市内学校に配ってほしい ・取組があまり知られていないので、SNSや公式アプリを使用すると良い

グループ1・2(小学生グループ)の意見



●良いところ

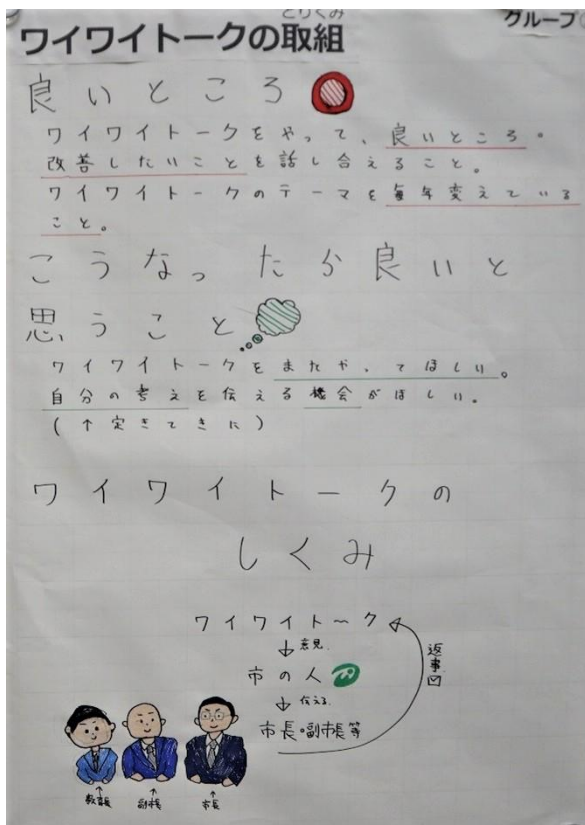
- 1 市からお返事があったので、どうなったかがわかって良い
- 2 参加する人数を増やすための考えがあるのが良い
- 3 色々な内容を扱っていてあきなくて良い
- 4 落ち着いてほんねを話せるのが良い
- 5 話し合いをサポートしてくれる人がある
- 6 HP もしっかり作られていて、行きたいという気持ちになる

●改ぜん点

- 1 参加賞があると色々な人が参加しやすい
- 2 発表の順序を決めてから進めた方がよい。割り込まれると悲しいから
- 3 家で考えるだけでなく、その場で考える時間がほしい。
- 4 もう少し発表の練習の時間がほしい
- 5 ポスターは自分で作った方がわかりやすい
- 6 この場に来られなかった子にもメール等を送った方がよい。来られる人に限られる。
- 7 ポスターや YouTube 動画があるとわかりやすい
- 8 泊まりがけの活動があった方が参加しやすい

※取組①～③をすべてまとめた内容

グループ3(小学生グループ)の意見



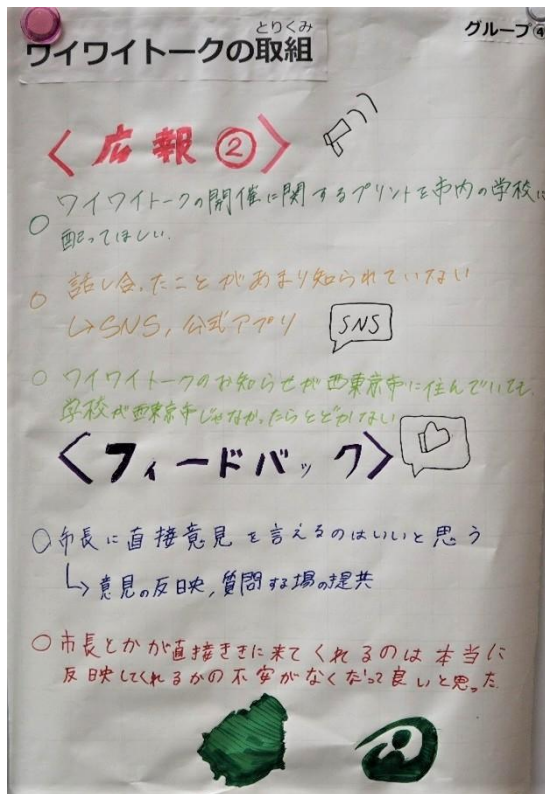
●良いところ

- 1 良いところや改ぜんしたいことを話合えるところ
- 2 テーマを毎年変えているところ

●改ぜん点

- 1 ワイワイトークをまたやってほしい
- 2 定期的に自分の考えを伝える機会がほしい

グループ4(中高生グループ)の意見



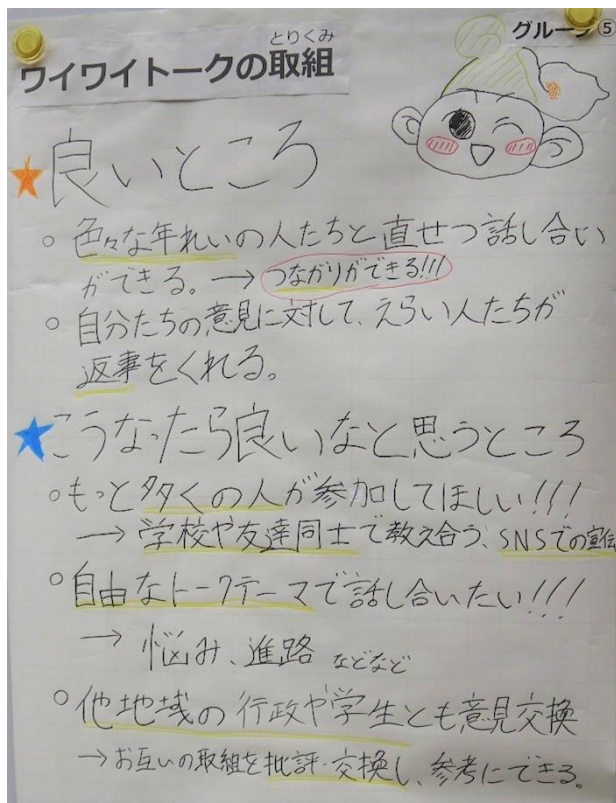
●良いところ

- 1 市長が直接来て質問に答えてくれるのは、本当に意見が反映されているかという不安がなくなって良いと思う

●改ぜん点

- 1 ワイワイトーク開催のプリントを市内学校に配ってほしい
- 2 取組があまり知られていないので、SNSや公式アプリを使用すると良い
- 3 ワイワイトークのお知らせが、市内在住でも市外に通学していると届かないのではないか

グループ5(大学生グループ)の意見



●良いところ

- 1 いろんな年齢の人と直接話合いができ、つながりができる
- 2 自分たちの意見に対してえらい人たちが返事をくれる

●改ぜん点

- 1 もっと多くの人に参加してほしい。学校や友達同士で教え合う、SNSでの宣伝
- 2 自由なテーマで話合いたい。悩みや進路など
- 3 他地域の行政や学生とも意見交換できると良い。お互いの取組を交換、参考にできる。
- 4 緊張するので、市長たちはもっとラフな服装にしてほしい

③ 資源循環サミットについての意見(小中高生全体)

良い点	・中高生 40 人で清掃をすると、町がきれいになり、みんなが良い気持ちになる
こんな体験活動にしたい	・ポイ捨てをしない呼びかけをする ・楽しくみんなで協力して体験活動をしたい ・捨てられたゴミでおもちゃ等をつくる ・捨てられたペットボトルで野菜を育てる
その他	・資源循環サミットについて知らなかった ・色々な学校に来て資源循環サミットについて教えてほしい ・ポイ捨てに関するルールがあるといい ・ゴミの課があるのにびっくりした ・田無駅では2日に1回そうじをしている ・田無駅と保谷駅にゴミが多いのは、広場があることが原因なのではないか。その後の調査があれば教えてほしい ・ゴミ問題をもっと大人に知ってほしい ・ポイ捨てをしない呼びかけがあるといい ・ゴミ箱や喫煙所を増やした方が良くと思う。設置できない理由を説明してほしい ・お金がもらえればゴミ拾いに参加する ・清掃活動をしてもゴミが無くならないので、それ以外の方法はあるのか ・自習室の席を増やして設備を充実してほしい

グループ1(小学生グループ)の意見



●良いところ

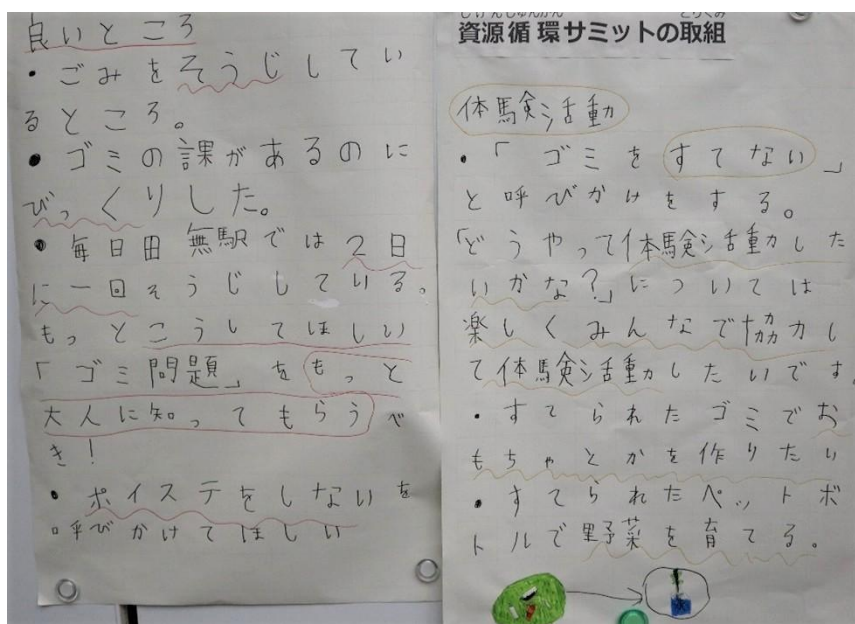
中高生 40 人で清掃をすると、町がきれいになり、みんなが良い気持ちになる

●その他の意見

- 1 資源循環サミットについて知らなかった
- 2 色んな学校に来て資源循環サミットについて教えてほしい
- 3 ポイ捨てに関するルールがあるといい

※取組①～③をすべてまとめた内容

グループ3(小学生グループ)の意見



●良いところ

ゴミそうじをしているところ

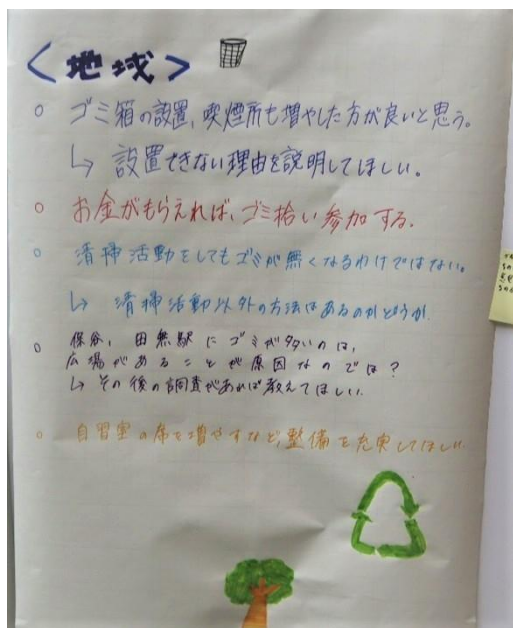
●こんな体験活動にしたい

- 1 ポイ捨てをしない呼びかけをする
- 2 楽しくみんなで協力して体験活動をしたい
- 3 捨てられたゴミでおもちゃ等をつくる
- 4 捨てられたペットボトルで野菜を育てる

●その他意見

- 1 ゴミの課があるのにびっくりした
- 2 田無駅では2日に1回そうじをしている
- 3 ゴミ問題をもっと大人に知ってほしい
- 4 ポイ捨てをしない呼びかけがあるといい

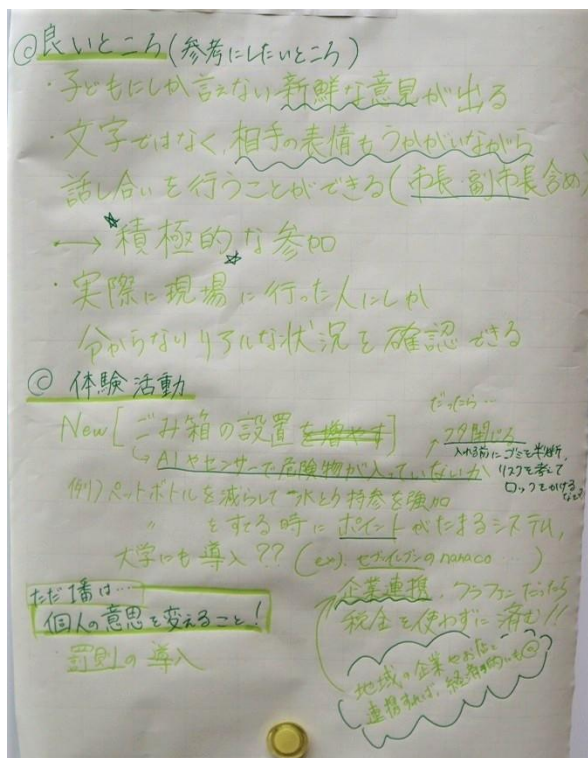
グループ4(中高生グループ)の意見



●意見

- 1 ゴミ箱や喫煙所を増やした方が良いと思う。設置できない理由を説明してほしい
- 2 お金がもらえればゴミ拾いに参加する
- 3 清掃活動をしてゴミが無くならないので、それ以外の方法はあるのか
- 4 田無駅と保谷駅にゴミが多いのは、広場があることが原因なのではないか。
その後の調査があれば教えてほしい
- 5 自習室の席を増やして設備を充実してほしい

グループ5(大学生生グループ)の意見



●良いところ、参考にしたいところ

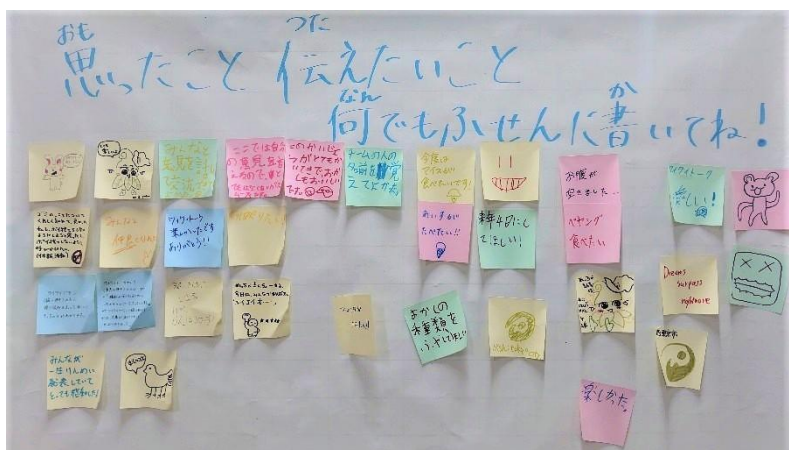
- 子どもならではの新鮮な意見が出る
- 文字だけではなく、相手の表情を伺いながら、市長や副市長を含め話し合いができる
- 実際に現場に行った人にしか分からない状況を確認できる

●体験活動について

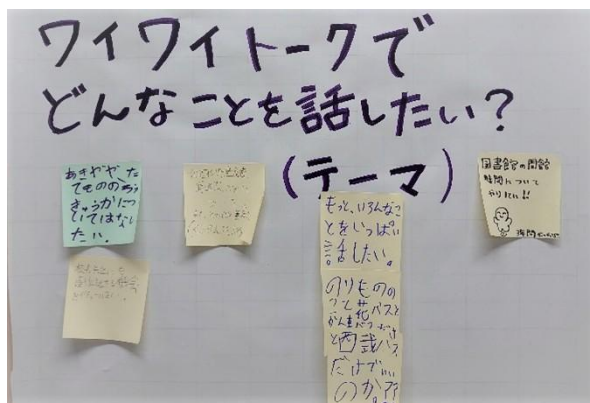
- 1 AIセンサー等が付いた新しいゴミ箱の設置
- 2 水筒持参強化でコンビニで使えるポイントが貯まるなど、ペットボトルを減らす
- 3 企業連携やクラウドファンディング等で費用をまかなう
- 4 罰則の導入で個人の意識を変える

④ 自由意見

- ・楽しかった
- ・みんなで意見を交換できてよかった
- ・ここでは自分の意見を言えるので、話し合いがスムーズです
- ・チームの人の名前を覚えてよかった
- ・発表緊張するけど頑張ります
- ・ゴミのことを詳しくしれてよかった。私もポイ捨てをしないように呼びかけたい
- ・ワイワイプランの緑の冊子が分かりやすいので、そちらにも振り仮名をふってほしい
- ・もう1日やりたい
- ・会場がきれいでお菓子もおいしい
- ・お菓子の種類を増やしてほしい
- ・アイス、パヤングが食べたい
- ・ファンタが飲みたい



⑤ ワイワイトークでどんなこと(テーマ)を話したい?



- ・空き家や建物の老朽化について
- ・公園や児童館など身近なことについて
- ・もっといろんなことをいっぱい話したい。
乗り物(バス)のこと(はなバス、西武バス等)
- ・図書館の開館時間について
- ・校長先生とも直接話せる機会をつくってほしい

5 ワイワイトークアンケート

ワイワイトークの参加者、大学生、保護者、見学者に事業の満足度や意見表明の取組などについてアンケートを取った。なお、自由回答については、主な意見を掲載している。

《回答人数…参加者:Day1 11人、Day2 12人、保護者:8人、大学生:Day1 20人、Day2 19人)、見学者2人》

1 参加者

(1) ワイワイトークを何で知りましたか？(複数回答)

学校でちらしをもらった	45%
児童館、図書館、公民館でちらし・ポスターを見た	18%
友だち、お家の人、学校の先生、児童館の先生からの紹介	27%
広報西東京市	0%
市のホームページ、SNS	9%

(2)今日は楽しかったですか？

	Day1	Day2
とてもそう思う	64%	100%
そう思う	36%	0%
どちらともいえない	0%	0%
そう思わない	0%	0%
まったく思わない	0%	0%

(3)グループワークでは自分の考えを言うことができましたか？

とてもそう思う	45%
そう思う	45%
どちらともいえない	0%
そう思わない	0%
まったく思わない	10%

(4)グループワークでは友だちの考えを聞くことができましたか？

とてもそう思う	73%
そう思う	36%
どちらともいえない	0%
そう思わない	0%
まったく思わない	0%

(5)今回のようなワイワイトークにまた参加したいですか？

とてもそう思う	67%
そう思う	33%
どちらともいえない	0%
そう思わない	0%
まったく思わない	0%

(6)事前学習のワークブックは、わかりやすかったですか？

よくわかった	27%
ほとんどわかった	64%
どちらともいえない	9%
少しわからないところがあった	0%
お家の人や大人の人に聞いた	0%

(7)事前学習のワークブックを使って、参加する準備をしてよかったですか？

よくわかった	58%
ほとんどわかった	33%
どちらともいえない	8%
少しわからないところがあった	0%
お家の人や大人の人に聞いた	0%

〈理由〉

- ・予習した方が内容が入ってきたから。
- ・見忘れていたけど、十分やることが分かった。
- ・話し合いが上手く進んだ。
- ・ワイワイトークのワークブックには、私の知らないことが、たくさん書かれていて、未知なる世界に飛び込めて良かったです。
- ・ワイワイトークの内容を説明してくれていたから
- ・準備をしていたからすぐ話し合いができた。
- ・持ち物が書いてあったから。
- ・準備したから当日でも言えたから。
- ・参考とかになったから。
- ・何をやるのか全く分からないよりは、少しでもわかったほうがよいと思ったから。
- ・おねえさんたちがとてもやさしかったから

(8)Day1で感じたこと、気づいたこと、考えたことなど

- ・大学生のみなさんが、とても丁寧に教えてくれて、とても話しやすかった。
- ・楽しかった！！大学についても知ることができてよかった。
- ・自分の知らない所で様々な活動が行われていた。
- ・事前ワークブックの内容をもう少し詳しく書いてほしいと思った。
- ・説明はワークシートよりもっと詳しく説明してくれていて分かりやすかった。
- ・意見を聞いてくれて楽しかった。

- ・なぜ、駅にゴミ箱がないのか知れてとても良かったと思います。
- ・ワイワイトークは大事だった。
- ・市は市をよりよく、安全にするため様々な取組をしていることがわかりました。

(9)ワイワイトークに参加して、子ども自身が変わったなと思うこと(複数選択)

コミュニケーション(話をしたり、話を聞くこと)がうまくなった	67%
自分の意見を考えて伝えることができるようになった	67%
いろいろな考え方や目線で見ることができるようになった	50%
市の取組をもっと知りたいと思った	50%
その他	0%

※複数選択のため、すべての割合の合計が100%を超えています。

(10)次に参加するとしたら、いつ頃の何時くらい、何日間だと参加しやすいですか？

〈時期〉	
夏休み前	42%
夏休みの平日	50%
夏休みの土日	33%
その他(あつくないとき 1人)	8%
〈時間〉 ※回答なし	
午前中(9:30~12:30)	83%
午後(13:00~16:00)	17%
夕方	0%
その他	0%
〈日数〉	
1 日間	0%
2 日間	25%
3日間	42%
その他(4 日間 2人、5日間 2人、年中 1人)	42%

※複数選択かつ選択していない方がいたため、すべての割合の合計が100%になっていません。

(12)今日のワイワイトークで「もっとこうなったら良いな」と思うことがあれば書いてください。

- ・フリーテーマがよい
- ・テーマを公園などについても話せたらいい
- ・西東京市が一番か題にしているものをまとめたい
- ・もっと人をふやしたいです

2 保護者

※複数選択の設問は、すべての割合の合計が 100%となりません。

(1) 参加したお子さんの年齢層を教えてください(複数回答)

小学生	100%
中学生	13%
高校生	0%

(2) 今回のワイワイトークへなぜお子さんを参加させたいと思われたのか(複数回答)

グループワークをとおして、子どもどうして意見を交換したり、まとめたりする体験ができるから	100%
市長や市の関係者へ子どもの意見を伝えられるから	75%
子どもの権利や意見表明について知ることができるから	38%
市の計画(子ども・若者ワイワイプラン)を知ることができるから	50%
市役所の仕事を知ることができるから	0%
武蔵野大学や附属中学高等学校に関心があるから	13%
その他(子どもが参加したいと言ったから 1人)	13%

(3) 次に参加するとしたら、いつ頃の時期が参加しやすいですか。(複数回答)

夏休み前(7月上旬)	88%
夏休み中(7月下旬～8月)の平日	38%
夏休み中(7月下旬～8月)の土日	13%
その他	0%

(4) 実施日数と時間について、どれが参加しやすいですか。(複数回答)

(午前は9時 30 分～12 時 30 分、午後は1時～4時、夕方は5時～7時)

3日間 × 半日(午前)	75%
3日間 × 半日(午後)	13%
3日間 × 半日(夕方)	0%
2日間 × 全日(午前と午後)	38%
1日間 × 全日(午前と午後)	13%
その他	0%

(5) その他、ワイワイトークのようなイベントに参加するにあたり、ご意見・ご要望がありましたら

教えてください。(場所、市報やチラシ、どのようなテーマであれば参加させたいか など)

〈意見〉

- ・この場はこれで続くと良いですが、市の北部でもあると良いと思います。
- ・開催有難う御座います。場所はまた、武蔵野大学が良いです！だいたいひばりヶ丘や保谷で子供向け活動が多い気がします。小学校の校長先生などもお呼びすればよかったなぁと感じました。もっと同じ学校から参加者をつのれたらよかった。でも、1 人だったからこそ他の学校の方と交流できたのかもしれないと思うとそれはそれで良かった。こういう子供たちが市長さんと交流できたり、いろんな意

見に触れたり、考えたり、発表したりする場所がとっても有難いです。有難うございました！

- ・体験できる場があるのは、本当にありがたいので、どんどん参加させたい。清瀬市でやっているピースエンジェルでの広島派遣があると良い。歴史や戦争について学ぶ機会があると良い。
- ・1日目が土曜授業と重なってしまい残念でした。
- ・身近なテーマ(ゴミ問題等)だと子どものイメージもつきやすく、良いと思いました。バスの本数などに子どもが関心を持っていました。

3 大学生

(1)今日の満足度

	Day1	Day2
とても満足	25%	43%
まあまあ満足	63%	50%
どちらともいえない	12%	7%
あまり満足していない	0%	0%
まったく満足していない	0%	0%

(2)子どもとのかかわりの中で印象に残った出来事や子どもの言葉(Day1)

- ・自分の意見や気持ちを言える場所や場面において ChatGPT と回答があったことに驚いた。現代ならではのなと感じたとともに、孤立が深まる要因にもなると感じた。
- ・子ども達の参加経路が親や自主的、LINE を通して知ったなど様々あった。自主的じゃないにしろ、それぞれワークに対しては真剣に向き合っていたのが印象的だった。
- ・アイスブレイクで大学構内を回った時に、子どもたちが前も同じ場所に來た！というようなことを言っていた。初参加ではない場合も多いため、同じテーマだと新鮮味がないかもしれない。

(3)子どもとかかわる経験の中で学生自身に変化があったか。(Day1)

- ・ひとりひとりの意見を聞くことだけでなく、みんなで一つのお題について会話していくことに難しさを感じた。また、大学生になると意見を譲るような場面が多くあるが、そうではなく、それぞれの意見を大切にすることで視野を広げることができるようになって感じた。
- ・みんなに話を振るというのが意外に難しいことに気づいた。子どもなので素直に表情に出る子など多いため、無理に意見を聞かないことを優先すると全てのワークで全員から意見を聞くことができなかった。
- ・はじめの自己紹介の頃よりかは、最後は自然に話せたような気がしている。

(4)ファシリテーターとノートテイクをする際に気を付けたこと、うまくいかなかったこと、疑問点

- ・なるべく全員が話す機会を持てるようにすることに気が付けた。しかし、発表の準備において資料をどのように作っていくか子ども自身からの案が出なく、なんでもいいよと言った声が多く、どのようにまとめるか苦労した。3つの取り組みについて資料作成したが、3つに分けなくても良かったのではないかなと思った。
- ・お子さんが主体となって活動できるように、手助け以外は見守る形を取ることを意識しました。また、初日は初対面ということもあり緊張されていたため、話しやすい空間を意識し自分から意見を言ってみるなど、色んな意見を言ってもいいという雰囲気作りに気が付きました。

- ・ノートテイカーで、書くことに集中せず、子どもに話を聞いているという態度を示しながら、記録をすることを意識しました。
- ・子どもたちが緊張していたら、朝ごはんや今日の気分などの話題などで場を和ませることから始める。言いたいけど言えなそうな子がいたら、全体の場ではなく 個別に聞いてみる
- ・ノートテイカーとして、子どもの意見だけでなく市長の回答も書き残しておくべきだと感じました。

(5)市の取組の評価をした感想

- ・良い点と改善点の双方においてグループ全員の意見がバランスよく出ていた。また、発表においても非常によくまとまった発言ができていたと思う。
- ・自分なりに提案をするというのが難しく感じる。市の取り組みとなるときちんと凝ったものになっているので、問題点や提案を考えつきにくかった。しかし、班員と相談しながら進めることで自分にはない意見を出してもらうことで視野が広がった。
- ・実際に西東京市の取り組みを知ったのは今回が初めてでした。私の地元や知っている市の取り組みと比べ、かなり進んでいるなと感じました。

(6)「子ども・若者の意見表明」について、ワイワイトークを通じて感じたこと

- ・子どもや若者の意見が、日常の中では十分に聞いてもらえなかったり、社会の意思決定に反映されにくかったりする場面がまだ多く存在している。そのような状況の中で、子どもや若者が市の取り組みについて自分の考えや気付きを安心して表明できる場をつくり、実際に声を届けられる機会があることは、意義のある取り組みだと感じた。こうした場があることで、子どもや若者自身が「自分の意見には価値がある」と実感でき、まちづくりに主体的に関わるきっかけになると考える。そのため、より多くの子どもや若者が、様々な場面で意見を表明できる機会を得ることができれば良いと感じた。
- ・意見表明をすることは勿論、意見表明をするうえで知らなかった問題に関心を向けるという時間が出来るということの大切さを学ぶことが出来たと感じる。
- ・今回は、市で行われている施策について話し合うというテーマで子どもたち一人一人もこの活動の良さや「こういうのがあったらなあ」という点をみんなで話し合い、自分事として捉えることができていたと感じた。そこに、子どもや若者が意見を市長などに直接伝える機会があったと感じた。
- ・ワイワイトークを通して、子ども達が安心して自分の意見を話せる環境づくりの大切さを実感しました。ただ意見を聞きだすのではなく、アイスブレイクやグループでの話し合いを通して、安心して発言できる雰囲気を整えることが意見表明につながると感じました。また、子どもの意見を聞いた後に、市がどのように反映したのかをフィードバックすることも、子どもたちが自分の意見が反映されたのだと感じるために重要だと学びました。
- ・実際にどう思っているのか聞くと、私はインスタを見るが、中にはTikTokを1番みるといった子どもがいたので、多様な価値観を知ることでもっとこうした方がいいというように市がよくなると思った。
- ・難しいテーマだとしても、まず子どもたちが話してみることが大切だと感じた。
- ・2日目の資料作成が終わったあとに、職員の方に公式アプリって見るのと聞かれた。あくまでも子どもたちの意見だったため、子どもがこういう風に言っていたとお伝えしたが、「私なら見ない、全員見るのかな」など少し否定的な意見を貰った。子どもの意見表明の場であるため、そのような意見が出るのは良くないのではないかと感じた。また、地元の話をしている時の方が子どもたちはいきいきしているように思えた。
- ・実際にお子さんが主体となって話し合いや意見発表を行っていたため、子ども・若者の意見表明がきちんと保障されている取り組みであると感じました。

・子どもは大人が思いつかない自由な意見を持っていることが分かりました。また、3日目の発表を終えた後に、意見を言えてスッキリしたと話してくれた子どもがいました。そのことから、子どもが意見を言えない環境は子どもにとってすごく負担になるのではないかと考えました。そのため、子どもが自由に意見を言

える場はとても重要だと思いました。

- ・子どもたちが自分の意見を伝えられたという実感が持てる機会に携わることができ、とても嬉しかった。
- ・西東京市は、こういった取り組みを通して子どもたちの声を聞き、それを活かしているので子どもからも信頼を得やすく、とても良いと感じた。
- ・直接伝わる場であるかどうかに関わらず、誰かに伝える場は必須だと感じている。ワイワイトークだけでなく、他の自治体にも子どもと若者の意見を聞く場を設定してほしいと思う。
- ・子どもたちが萎縮せず、市長に質問できており、その時点で意見表明の場としては成功と言えると思う。このような場は貴重で、なかなか得られない体験でもあるので、ここにとどまらず色々な場所で子どもが大人に意見を伝えられるような取り組みが必要だと感じた。
- ・市長や副市長も子ども本人と意見交換できることが、距離の近さを感じることができ、いいなと思いました。また、選挙権がないなどの理由で子どもの意見は抑圧されてしまう部分があると思います。そういった点からしても、このように意見表明できる場の意義を感じることができました。

(7)ワイワイトークを通じて、あなた自身が西東京市のまちづくりに携わっている実感はありましたか。感じたことを教えてください。

- ・ワイワイトークに参加させていただいたことで、西東京市が掲げる「子どもが『ど真ん中』のまちづくり」という理念に、自分も関わることができたと感じた。子どもや若者の声を大切にし、その思いや意見をまちづくりに反映しようとする取り組みの一端に触れたことは、私自身にとっても貴重な経験となった。参加を通して、子どもたちの声が地域の未来を形づくる力を持っていることを改めて実感し、このような場が今後さらに広がっていくことの重要性を感じた。
- ・今回のワイワイトークでは子どもたちは勿論、大学生の中でも西東京市の知らなかった地域問題に触れることが出来たという点からまちづくりに携われた実感があった。
- ・まちづくりに携わっている実感を得られた。以前、保谷駅を利用したことがあったものの、ゴミ問題についてはあまり気になる点はなかった。しかしながら、保谷駅のゴミの多さについて市で改善しようと資源サミットと言った取り組みを行っていることを知ることができた。また、発表を聞いて、大学生グループの「ゴミ箱にAIを活用して危険物等を検知する」という点には私にはない考え方で興味深かった。私は西東京市に住んでいるわけではないのだが、自分の住む街にも活かせる部分があるのではないかと感じた。
- ・大学生として、子どもたちの話し合いを支える役割を担ったことで、西東京市のまちづくりに携わっているという実感を持つことができました。子どもたちが安心して意見を話せるように関わり、発言を整理して記録することも、子どもの声を市へ届けるための大切な役割だと感じました。今回の経験を通して、子どもの意見を尊重し、その声を地域づくりにつなげることの重要性を学び、今後も地域の活動に積極的に関わっていきたいと思いました。
- ・西東京市のことは詳しくなかったが、「いこいーな」の妖精の話や、なぜ市長になったのかななどの理由を聞き、自分が住んでいる市より理解が深まって良かった。
- ・子どもたちの考えを発展させるサポートをすることで、間接的に携わっていると感じる。
- ・まちづくりというより行政に協力しているというほうが感じてしまった。今回は少しテーマが難しかったのではないかと考えた。

- ・実際に西東京市の市長さんがいらして、必ず意見を反映させる等の約束があり、西東京市に携わっているものとしての自覚を、より持たされたと感じています。
- ・実感はありました。西東京市について話し合い、意見を伝えて、それを実際に直接聞いていただくことで、携わっている実感がありました。
- ・西東京市の宝である子ども条例の意見表明の場を作ることで、西東京市が子どもたちが健やかに育つ環境を整えているのだなと感じた。
- ・一日しか参加していませんが、市長と市民のやり取りを見たり、市長の思いを聞くことで、自分も一員としてこの場にいると実感しました。
- ・何より市長や副市長に直接話を聞いてもらえるという点が大きいと思う。そのおかげで改善点や伝えたいことをより明確にして話すことができたと思うし、まちづくりに貢献している実感が強かった。
- ・西東京市出身ではないので、そこまで関わっているという実感は得にくかったが、他の方もそうで、住んでいない地域でも外から見ることで何か提案できることがあるのかもしれないとワイワイトークを通して考えられた。
- ・今回のイベントでは大学生グループとして意見表明に参加させていただきました。子どもならではの視点、大学生ならではの視点などを西東京市に伝えられたことで、さらなるまちづくりの発展に貢献できたのかな？と感じております。

4 見学者

(1)印象に残っている子どもの意見や発表

- ・3グループで発表された、総合計画についての意見がとても素晴らしかった。
- ・意見を言える場、「直接伝えられる場」があることを評価していることが印象的だった。異世代の交流に対する評価もあった。

(2)ワイワイトークの取組について、思ったこと

- ・小学生たちが自分たちの意見をしっかり考え、発表する姿に感銘を受けました。ファシリテーターの大学生たちが上手に意見を引き出して素晴らしいと感じました。これからも続けてください。
- ・3回目の開催になるが、連続して参加する子どもがいることを評価したい。この形は大学生のサポートなしには成立しない。とても有効である。本来の目的とは異なるかもしれないが、子どもを集めるなら「ワイワイキャンプ」など、宿泊やアクティビティを伴い、子どもたちにワクワク感をもたせるのはどうだろう？